

Exclusive All about Shinagawashuku! 地元厳選 これで分かる品川宿のすべて!

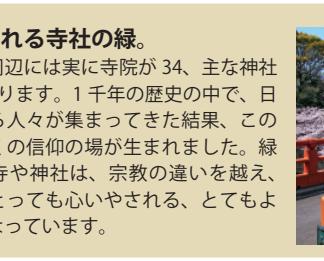
1千年の歴史をもつまち、品川宿。
このまちは古く平安時代頃から人々が住み始め、鎌倉時代にはすでに渋谷として発展し、武蔵の唯一の物流の拠点として栄えた古いまちです。



品川宿が浮世絵に描かれたわけ。
浮世絵は、美人、役者、風景などを題材にした江戸時代の風俗画ですが、今でいう、情報紙のような役割も持っていました。つまり世間では今どんなんが流行っているのか、役者や女性ではだれが人気があるのか、行業に行くには今どこが一番か、そのような最先端の情報を当時の人は浮世絵から得ていたのです。ここ品川宿もお花見や海辺の遊び、歓楽街の美人など、絵になる題材に事欠きませんでしたから、浮世絵師はござってこまちを描いたのです。



未知の空間に迷い込む楽しさ。
東海道の道筋を歩いていると、枝別れた細い道があちこちにあらわれます。ちょっと好奇心をくすぐるこの迷路のような路地を歩くと、地元の人たちが丹精した植木が並んでいたり、井戸があつたり、洗濯物が干してあつたり、まちの暮らしと文化が直に感じられます。そんな路地で地元の人に出会ったら、ちょっと会釣をお願いします。



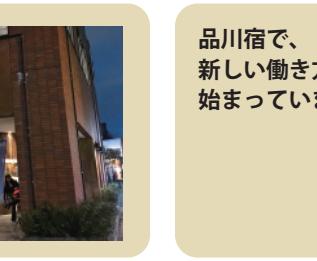
心がほぐれる寺社の緑。
品川宿の周辺には実に寺院が34、主な神社が16もあります。1千年の歴史の中で、日本各地から人々が集まってきた結果、このように多くの信仰の場が生まれました。緑が多いお寺や神社は、宗教の違いを超えて、どなたにとっても心いやされる、とてもよい空間になっています。



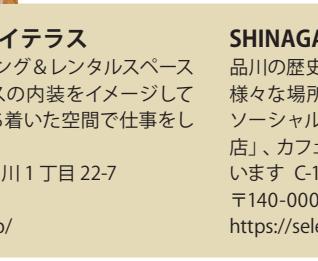
まち角の歴史案内看板
まち角に掲げられた小さな看板には、その土地の歴史がワンポイント記されています。まち歩きの参考に、ぜひご一読下さい。



まち歩きの後は銭湯へ!
品川宿にはまだ2軒の銭湯が盛業中。昔ながらの銭湯スタイルを守る「吹上湯」、天然温泉が人気の「天神湯」。まち歩き疲れたなら銭湯に入行ってリフレッシュ! 湯上がりの一杯を飲みに出かけましょう。



品川宿で、新しい働き方・交流、始まっています。
RayTerrace レイテラス
品川の歴史を繋いだ建物をリノベーションし、品川の新しい拠点として、様々な場所から訪れる人たちの交流を生み、発信していく複合施設です。ソーシャルカフェ「PORTO」、日本酒の古酒・熟成酒専門店「いしぶ酒店」、カフェ＆コワーキングスペース「ママプラスカワフ」等の店舗が営業しています。C-10 〒140-0001 品川区北品川1丁目22-7 石田北品川ビル2・3 https://ray-terrace.co.jp/



SHINAGAWA1930
品川の歴史を繋いだ建物をリノベーションし、品川の新しい拠点として、様々な場所から訪れる人たちの交流を生み、発信していく複合施設です。ソーシャルカフェ「PORTO」、日本酒の古酒・熟成酒専門店「いしぶ酒店」、カフェ＆コワーキングスペース「ママプラスカワフ」等の店舗が営業しています。C-10 〒140-0001 品川区北品川1-21-9-10 https://select-type.com/s/shinagawa1930

昔の道幅のまま残る東海道。
江戸時代には、政治の中心地である江戸から地方へと伸びる主要幹線道路「街道」が整備されました。なかでも江戸と京都を結ぶ「東海道」は最も重要な道路でした。そして今もまちの真ん中を通る東海道は、江戸の昔からの道幅をそのままに、北品川のハツ山口から鈴ヶ森口まで約3.8kmが残る、貴重な歴史遺産なのです。

江戸庶民の大レジャースポット。
「江戸」の入口に位置する品川宿は、東西の文化が交流する文化都市として発展しました。また自然環境にも恵まれ、西は御殿山から南へ丘陵地帯が連なり、春は桜、秋は紅葉の名所として知られ、関東一円から行楽の人々が押し寄せました。また東の品川浦は魚介類の宝庫で、釣りや潮干狩り、船遊びの人々でにぎわい、町場には、それらの新鮮な魚介類をふんだんに使った贅沢な料理を出す店や旅籠が軒を連ねていました。つまりここ品川宿は、海、山の行楽があり、町場では最先端の情報が行き交い、流行の最先端を知ることができます。まさに、江戸庶民には最高のレジャースポットとして人気を集めています。

石の道標、全25本
第一番は品川宿ハツ山入口。そして最後の25番は鈴ヶ森口。さあ、25本完全チェックにチャレンジしよう!

まち歩きのお楽しみのひとつです。

歴史を伝える美しい商家建築。
この品川宿は、日本橋から約8キロにある最初の宿場町。そして今もまちの真ん中を通る東海道は、江戸の昔からの道幅をそのままに、北品川のハツ山口から鈴ヶ森口まで約3.8kmが残る、貴重な歴史遺産なのです。

細長く狭い地形が、奇跡を生んだ。
海岸部の埋め立てが進む以前の品川宿は東に品川浦、西に御殿山の山並みが迫るとても狭い地域で、そのまちの真ん中を東海道が通っていました。この東西に狭く、南北に長い地形が品川宿には幸いしたといつてもいいでしょう。

明治5年、日本の最初の鉄道、東海道線もこの細すぎるまちを避けて、御殿山の谷筋に進路を取りました。そしてこの鉄道で突き崩されたエリアには、近代的なオフィスビルが建ち並んでいます。また大正時代末から東側の海は急ピッチで埋め立てられ、工場地帯となりました。この埋め立ての工場地帯もまた、現在は高層オフィスビル／マンションが混在する近未来的なニュータウンへと生まれ変わりました。

まち並みをつなぐ。
まちを歩いていてもお気づきのように、品川宿では独自の景観計画のもとに、看板のれん、ひさし、戸口、シャッターなど、店舗のデザインや色彩に一定の基準をもつて、品川宿にふさわしい景観整備を進めています。石畳の歩道や共通デザインの街路灯も、まち並みをつなぐ景観活動の一環です。

しながわっ子の誇り、みこしだこ
品川宿の人たちは、みんな祭りが好き。その祭りの主役は、何といっても神輿。特にこのまちの神輿はどれも大きくて立派です。そしてこの神輿のかつぎが独特で、神田や浅草などの「縦棒」を担ぐ江戸前とは違って、「横棒」に肩を入れます。このために担ぎ手の肩と首の間に大きなこぶがあります。これが「みこしだこ」。この体に染み付いた神輿の痕跡こそ、しながわっ子にとっては何にも代え難い誇りなのです。

景観をつなぐ。東海道を石畳でつなぐ
古き良き時代の東海道の雰囲気を蘇らせつつ、歩きやすく安全な道に、東海道の歩道を石畳に改修する活動が続けられ、ついに平成24年3月末に、品川宿全域が完成しました。また北品川宿一帯は併せて電線地中化の工事も完了し、すっきりとしたまち並みの景観となりました。まちでは全57次(53+大阪までの4宿)の各宿場から街道松を寄贈してもらい、それを東海道沿いに植える活動を続けています。街道松の広場の松は、その第1号で浜松宿から贈られたものです。

ホーリーなまちのまち歩き。
まち歩きの後は銭湯へ!
品川宿で、新しい働き方・交流、始まっています。
RayTerrace レイテラス
品川の歴史を繋いだ建物をリノベーションし、品川の新しい拠点として、様々な場所から訪れる人たちの交流を生み、発信していく複合施設です。ソーシャルカフェ「PORTO」、日本酒の古酒・熟成酒専門店「いしぶ酒店」、カフェ＆コワーキングスペース「ママプラスカワフ」等の店舗が営業しています。C-10 〒140-0001 品川区北品川1丁目22-7 石田北品川ビル2・3 https://ray-terrace.co.jp/

SHINAGAWA1930
品川の歴史を繋いだ建物をリノベーションし、品川の新しい拠点として、様々な場所から訪れる人たちの交流を生み、発信していく複合施設です。ソーシャルカフェ「PORTO」、日本酒の古酒・熟成酒専門店「いしぶ酒店」、カフェ＆コワーキングスペース「ママプラスカワフ」等の店舗が営業しています。C-10 〒140-0001 品川区北品川1-21-9-10 https://select-type.com/s/shinagawa1930

まち歩きの後は銭湯へ!
品川宿にはまだ2軒の銭湯が盛業中。昔ながらの銭湯スタイルを守る「吹上湯」、天然温泉が人気の「天神湯」。まち歩き疲れたなら銭湯に入行ってリフレッシュ! 湯上がりの一杯を飲みに出かけましょう。

品川宿で、新しい働き方・交流、始まっています。
RayTerrace レイテラス
品川の歴史を繋いだ建物をリノベーションし、品川の新しい拠点として、様々な場所から訪れる人たちの交流を生み、発信していく複合施設です。ソーシャルカフェ「PORTO」、日本酒の古酒・熟成酒専門店「いしぶ酒店」、カフェ＆コワーキングスペース「ママプラスカワフ」等の店舗が営業しています。C-10 〒140-0001 品川区北品川1丁目22-7 石田北品川ビル2・3 https://ray-terrace.co.jp/

SHINAGAWA1930
品川の歴史を繋いだ建物をリノベーションし、品川の新しい拠点として、様々な場所から訪れる人たちの交流を生み、発信していく複合施設です。ソーシャルカフェ「PORTO」、日本酒の古酒・熟成酒専門店「いしぶ酒店」、カフェ＆コワーキングスペース「ママプラスカワフ」等の店舗が営業しています。C-10 〒140-0001 品川区北品川1-21-9-10 https://select-type.com/s/shinagawa1930

まち歩きの後は銭湯へ!
品川宿にはまだ2軒の銭湯が盛業中。昔ながらの銭湯スタイルを守る「吹上湯」、天然温泉が人気の「天神湯」。まち歩き疲れたなら銭湯に入行ってリフレッシュ! 湤上がりの一杯を飲みに出かけましょう。

品川宿で、新しい働き方・交流、始まっています。
RayTerrace レイテラス
品川の歴史を繋いだ建物をリノベーションし、品川の新しい拠点として、様々な場所から訪れる人たちの交流を生み、発信していく複合施設です。ソーシャルカフェ「PORTO」、日本酒の古酒・熟成酒専門店「いしぶ酒店」、カフェ＆コワーキングスペース「ママプラスカワフ」等の店舗が営業しています。C-10 〒140-0001 品川区北品川1丁目22-7 石田北品川ビル2・3 https://ray-terrace.co.jp/

SHINAGAWA1930
品川の歴史を繋いだ建物をリノベーションし、品川の新しい拠点として、様々な場所から訪れる人たちの交流を生み、発信していく複合施設です。ソーシャルカフェ「PORTO」、日本酒の古酒・熟成酒専門店「いしぶ酒店」、カフェ＆コワーキングスペース「ママプラスカワフ」等の店舗が営業しています。C-10 〒140-0001 品川区北品川1-21-9-10 https://select-type.com/s/shinagawa1930

まち歩きの後は銭湯へ!
品川宿にはまだ2軒の銭湯が盛業中。昔ながらの銭湯スタイルを守る「吹上湯」、天然温泉が人気の「天神湯」。まち歩き疲れたなら銭湯に入行ってリフレッシュ! 湤上がりの一杯を飲みに出かけましょう。

品川宿で、新しい働き方・交流、始まっています。
RayTerrace レイテラス
品川の歴史を繋いだ建物をリノベーションし、品川の新しい拠点として、様々な場所から訪れる人たちの交流を生み、発信していく複合施設です。ソーシャルカフェ「PORTO」、日本酒の古酒・熟成酒専門店「いしぶ酒店」、カフェ＆コワーキングスペース「ママプラスカワフ」等の店舗が営業しています。C-10 〒140-0001 品川区北品川1丁目22-7 石田北品川ビル2・3 https://ray-terrace.co.jp/

SHINAGAWA1930
品川の歴史を繋いだ建物をリノベーションし、品川の新しい拠点として、様々な場所から訪れる人たちの交流を生み、発信していく複合施設です。ソーシャルカフェ「PORTO」、日本酒の古酒・熟成酒専門店「いしぶ酒店」、カフェ＆コワーキングスペース「ママプラスカワフ」等の店舗が営業しています。C-10 〒140-0001 品川区北品川1-21-9-10 https://select-type.com/s/shinagawa1930

まち歩きの後は銭湯へ!
品川宿にはまだ2軒の銭湯が盛業中。昔ながらの銭湯スタイルを守る「吹上湯」、天然温泉が人気の「天神湯」。まち歩き疲れたなら銭湯に入行ってリフレッシュ! 湤上がりの一杯を飲みに出かけましょう。

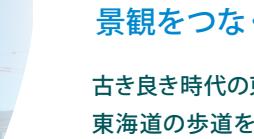
SHINAGAWA1930
品川の歴史を繋いだ建物をリノベーションし、品川の新しい拠点として、様々な場所から訪れる人たちの交流を生み、発信していく複合施設です。ソーシャルカフェ「PORTO」、日本酒の古酒・熟成酒専門店「いしぶ酒店」、カフェ＆コワーキングスペース「ママプラスカワフ」等の店舗が営業しています。C-10 〒140-0001 品川区北品川1-21-9-10 https://select-type.com/s/shinagawa1930

祭り 祭りを中心に1年が回るまち。



品川宿では年間を通じて多くの祭りが行われていますが、中でも最も重要なのが、6月初旬に行われる品川神社の「北の天王祭」と荏原神社の「南の天王祭」です。どちらも伝統的な祭りで、大きな神社御輿、町内神輿がまち中を練り歩きます。

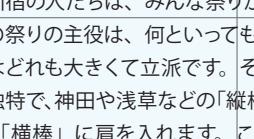
品川宿の人々はこの何百年も続く祭りを心から愛し、そして何よりの誇りとしており、1年の暮らしはこの祭りを中心に動いています。天王祭ではありません。品川宿の魅力を解く第一の鍵は、この祭りにこそあるのです。



品川宿の人々はこの何百年も続く祭りを心から愛し、そして何よりの誇りとしており、1年の暮らしはこの祭りを中心に動いています。天王祭ではありません。品川宿の魅力を解く第一の鍵は、この祭りにこそあるのです。



品川宿の人々はこの何百年も続く祭りを心から愛し、そして何よりの誇りとしており、1年の暮らしはこの祭りを中心に動いています。天王祭ではありません。品川宿の魅力を解く第一の鍵は、この祭りにこそあるのです。



品川宿の人々はこの何百年も続く祭りを心から愛し、そして何よりの誇りとしており、1年の暮らしはこの祭りを中心に動いています。天王祭ではありません。品川宿の魅力を解く第一の鍵は、この祭りにこそあるのです。



品川宿の人々はこの何百年も続く祭りを心から愛し、そして何よりの誇りとしており、1年の暮らしはこの祭りを中心に動いています。天王祭ではありません。品川宿の魅力を解く第一の鍵は、この祭りにこそあるのです。



品川宿の人々はこの何百年も続く祭りを心から愛し、そして何よりの誇りとしており、1年の暮らしはこの祭りを中心に動いています。天王祭ではありません。品川宿の魅力を解く第一の鍵は、この祭りにこそあるのです。



品川宿の人々はこの何百年も続く祭りを心から愛し、そして何よりの誇りとしており、1年の暮らしはこの祭りを中心に動いています。天王祭ではありません。品川宿の魅力を解く第一の鍵は、この祭りにこそあるのです。



品川宿の人々はこの何百年も続く祭りを心から愛し、そして何よりの誇りとしており、1年の暮らしはこの祭りを中心に動いています。天王祭ではありません。品川宿の魅力を解く第一の鍵は、この祭りにこそあるのです。



品川宿の人々はこの何百年も続く祭りを心から愛し、そして何よりの誇りとしており、1年の暮らしはこの祭りを中心に動いています。天王祭ではありません。品川宿の魅力を解く第一の鍵は、この祭りにこそあるのです。



品川宿の人々はこの何百年も続く祭りを心から愛し、そして何よりの誇りとしており、1年の暮らしはこの祭りを中心に動いています。天王祭ではありません。品川宿の魅力を解く第一の鍵は、この祭りにこそあるのです。



祭り 祭りを中心に1年が回るまち。

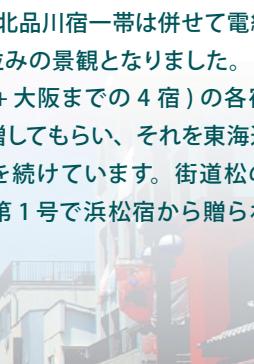


品川宿では年間を通じて多くの祭りが行われていますが、中でも最も重要なのが、6月初旬に行われる品川神社の「北の天王祭」と荏原神社の「南の天王祭」です。どちらも伝統的な祭りで、大きな神社御輿、町内神輿がまち中を練り歩きます。

品川宿の人々はこの何百年も続く祭りを心から愛し、そして何よりの誇りとしており、1年の暮らしはこの祭りを中心に動いています。天王祭ではありません。品川宿の魅力を解く第一の鍵は、この祭りにこそあるのです。



品川宿の人々はこの何百年も続く祭りを心から愛し、そして何よりの誇りとしており、1年の暮らしはこの祭りを中心に動いています。天王祭ではありません。品川宿の魅力を解く第一の鍵は、この祭りにこそあるのです。



品川宿の人々はこの何百年も続く祭りを心から愛し、そして何よりの誇りとしており、1年の暮らしはこの祭りを中心に動いています。天王祭ではありません。品川宿の魅力を解く第一の鍵は、この祭りにこそあるのです。

</

地元厳選

東海道品川宿 なるほど マップ ようこそ、品川宿へ！

ここ品川宿は、東京の最も先進的なエリアにあります。昔から変わらない人情と、下町の情緒が色濃く残るまちです。

どうぞ心をときほぐして、ちょっとレトロなまち品川宿をごゆるりと、お楽しみください。

しながわ観光協会



見て 食えて よ

東海道品川宿 見所 スポット

天王洲エリア

天王洲アイル (E-1)

オフィスビル、銀河劇場、ショッピング街、レストラン、ホテルなどが集まるモール街。ウオーターフロントのおしゃれな再開発の先駆け。

水辺のボードウォーク (E-10)

おしゃれな天王洲アイルをつなぐ木板張りのデッキは、眺めがよく遊歩にぴったり。この辺の岸壁には、アーバー来襲した、お台場の石垣がまだ残っています。

幕末築造の台場の名残 (E-11)

東京モード上を行き交うすぐ下に、幕末築造された第四台場の石垣が、150年の時を経ても残っています。

北品川 / 東品川エリア

コジラの初上陸地点 (B-10)

ハリウッドでもリメイクされた世界の大人気『コジラ』。その第一回で、太平洋上で生まれたコジラが陸地に第一歩を切ったのが、八ツ山橋。「シン・コジラ」にも登場。

禅問答の記念碑・答問河岸 (C-10)

三代将軍・徳川家光(1604-1651)による有名な禅問答が、現在も交差する場所。沢庵は家光の要請を受け目黒川のほとりに東海寺を開いた。

海辺のまちの名残 品川川 (C-10)

かつて品川宿の一帯は商業が盛んで、すしや天ぷらの店舗が江戸前の河原に揚げられ、海苔や産地としても有名だった。1962年以後、漁は行わないが、今も天ぷら店や、つり舟、屋形船を営む船宿が多い。

幕末の史跡 土蔵相模跡 (C-10)

1860年の桜門田一帯では戸戸浪士らが、1862年の御殿山一帯に土蔵を築いていた。高島政作、伊藤博文ら長州勢が謀議を重ねた跡地。

品川の鎮守・品川神社 (C-9)

江戸時代から多くの墓石が残っている。境内には、御殿山の御門跡や、五輪塔を中心とした墓石がある。

昔の地形が今も残る台場跡 (C-10)

台場小学校は、ヒーリー隊を迎へるために幕末に築かれた台場跡のひとつ。5重形の敷地は当時のまま。品川橋を築いた石や、品川台所のリブが校門の右手に残っている。

江戸の駿馬跡・大駿の墓・駿馬 (C-10)

16世将軍・徳川家斉 (1787-1831) の時代に、江戸の駿馬が、馬の足を伸ばすために走った跡地。

翡翠原石館 (A-9)

翡翠の世界的なコレクターが自らの所蔵品を展示。翡翠が含まれる大きな岩石から小さな勾玉まで、翡翠のすべてを見て、知ることができます。

高村智恵子の「レモンの庭」 (B-7)

美術家・高村智恵子 (1886-1938) が最後の日々を送ったセムズ坂病院があった場所。夫で彫刻家・詩人の高村太郎 (1883-1956) が智恵子を詠った詩集「智恵子抄」は多くの日本人に愛されています。

日本ペイント明治記念館 (B-8)

日本で最初にベンガラが作られた工場。1909年ころの赤レンガ造りの建物の中には当時の製造機械も残っています。見学者も受け付けています。

江戸の駿馬跡・大駿の墓・駿馬 (C-10)

江戸時代の大駿・奥平家の菩提寺。時代によると、江戸の駿馬が、馬の足を伸ばすために走った跡地。

翡翠原石館 (A-9)

翡翠の世界的なコレクターが自らの所蔵品を展示。翡翠が含まれる大きな岩石から小さな勾玉まで、翡翠のすべてを見て、知ることができます。

高村智恵子の「レモンの庭」 (B-7)

美術家・高村智恵子 (1886-1938) が最後の日々を送ったセムズ坂病院があった場所。夫で彫刻家・詩人の高村太郎 (1883-1956) が智恵子を詠った詩集「智恵子抄」は多くの日本人に愛されています。

日本ペイント明治記念館 (B-8)

日本で最初にベンガラが作られた工場。1909年ころの赤レンガ造りの建物の中には当時の製造機械も残っています。見学者も受け付けています。

江戸の駿馬跡・大駿の墓・駿馬 (C-10)

江戸時代の大駿・奥平家の菩提寺。時代によると、江戸の駿馬が、馬の足を伸ばすために走った跡地。

翡翠原石館 (A-9)

翡翠の世界的なコレクターが自らの所蔵品を展示。翡翠が含まれる大きな岩石から小さな勾玉まで、翡翠のすべてを見て、知ることができます。

高村智恵子の「レモンの庭」 (B-7)

美術家・高村智恵子 (1886-1938) が最後の日々を送ったセムズ坂病院があった場所。夫で彫刻家・詩人の高村太郎 (1883-1956) が智恵子を詠った詩集「智恵子抄」は多くの日本人に愛されています。

日本ペイント明治記念館 (B-8)

日本で最初にベンガラが作られた工場。1909年ころの赤レンガ造りの建物の中には当時の製造機械も残っています。見学者も受け付けています。

江戸の駿馬跡・大駿の墓・駿馬 (C-10)

江戸時代の大駿・奥平家の菩提寺。時代によると、江戸の駿馬が、馬の足を伸ばすために走った跡地。

翡翠原石館 (A-9)

翡翠の世界的なコレクターが自らの所蔵品を展示。翡翠が含まれる大きな岩石から小さな勾玉まで、翡翠のすべてを見て、知ることができます。

高村智恵子の「レモンの庭」 (B-7)

美術家・高村智恵子 (1886-1938) が最後の日々を送ったセムズ坂病院があった場所。夫で彫刻家・詩人の高村太郎 (1883-1956) が智恵子を詠った詩集「智恵子抄」は多くの日本人に愛されています。

日本ペイント明治記念館 (B-8)

日本で最初にベンガラが作られた工場。1909年ころの赤レンガ造りの建物の中には当時の製造機械も残っています。見学者も受け付けています。

江戸の駿馬跡・大駿の墓・駿馬 (C-10)

江戸時代の大駿・奥平家の菩提寺。時代によると、江戸の駿馬が、馬の足を伸ばすために走った跡地。

翡翠原石館 (A-9)

翡翠の世界的なコレクターが自らの所蔵品を展示。翡翠が含まれる大きな岩石から小さな勾玉まで、翡翠のすべてを見て、知ることができます。

高村智恵子の「レモンの庭」 (B-7)

美術家・高村智恵子 (1886-1938) が最後の日々を送ったセムズ坂病院があった場所。夫で彫刻家・詩人の高村太郎 (1883-1956) が智恵子を詠った詩集「智恵子抄」は多くの日本人に愛されています。

日本ペイント明治記念館 (B-8)

日本で最初にベンガラが作られた工場。1909年ころの赤レンガ造りの建物の中には当時の製造機械も残っています。見学者も受け付けています。

江戸の駿馬跡・大駿の墓・駿馬 (C-10)

江戸時代の大駿・奥平家の菩提寺。時代によると、江戸の駿馬が、馬の足を伸ばすために走った跡地。

翡翠原石館 (A-9)

翡翠の世界的なコレクターが自らの所蔵品を展示。翡翠が含まれる大きな岩石から小さな勾玉まで、翡翠のすべてを見て、知ることができます。

高村智恵子の「レモンの庭」 (B-7)

美術家・高村智恵子 (1886-1938) が最後の日々を送ったセムズ坂病院があった場所。夫で彫刻家・詩人の高村太郎 (1883-1956) が智恵子を詠った詩集「智恵子抄」は多くの日本人に愛されています。

日本ペイント明治記念館 (B-8)

日本で最初にベンガラが作られた工場。1909年ころの赤レンガ造りの建物の中には当時の製造機械も残っています。見学者も受け付けています。

江戸の駿馬跡・大駿の墓・駿馬 (C-10)

江戸時代の大駿・奥平家の菩提寺。時代によると、江戸の駿馬が、馬の足を伸ばすために走った跡地。

翡翠原石館 (A-9)

翡翠の世界的なコレクターが自らの所蔵品を展示。翡翠が含まれる大きな岩石から小さな勾玉まで、翡翠のすべてを見て、知ることができます。

高村智恵子の「レモンの庭」 (B-7)

美術家・高村智恵子 (1886-1938) が最後の日々を送ったセムズ坂病院があった場所。夫で彫刻家・詩人の高村太郎 (1883-1956) が智恵子を詠った詩集「智恵子抄」は多くの日本人に愛されています。

日本ペイント明治記念館 (B-8)

日本で最初にベンガラが作られた工場。1909年ころの赤レンガ造りの建物の中には当時の製造機械も残っています。見学者も受け付けています。

江戸の駿馬跡・大駿の墓・駿馬 (C-10)

江戸時代の大駿・奥平家の菩提寺。時代によると、江戸の駿馬が、馬の足を伸ばすために走った跡地。

翡翠原石館 (A-9)

翡翠の世界的なコレクターが自らの所蔵品を展示。翡翠が含まれる大きな岩石から小さな勾玉まで、翡翠のすべてを見て、知ることができます。

高村智恵子の「レモンの庭」 (B-7)

美術家・高村智恵子 (1886-1938) が最後の日々を送ったセムズ坂病院があった場所。夫で彫刻家・詩人の高村太郎 (1883-1956) が智恵子を詠った詩集「智恵子抄」は多くの日本人に愛されています。

日本ペイント明治記念館 (B-8)

日本で最初にベンガラが作られた工場。1909年ころの赤レンガ造りの建物の中には当時の製造機械も残っています。見学者も受け付けています。

江戸の駿馬跡・大駿の墓・駿馬 (C-10)

江戸時代の大駿・奥平家の菩提寺。時代によると、江戸の駿馬が、馬の足を伸ばすために走った跡地。

翡翠原石館 (A-9)

翡翠の世界的なコレクターが自らの所蔵品を展示。翡翠が含まれる大きな岩石から小さな勾玉まで、翡翠のすべてを見て、知ることができます。

高村智恵子の「レモンの庭」 (B-7)

美術家・高村智恵子 (1886-1938) が最後の日々を送ったセムズ坂病院があった場所。夫で彫刻家・詩人の高村太郎 (1883-1956) が智恵子を詠った詩集「智恵子抄」は多くの日本人に愛されています。

日本ペイント明治記念館 (B-8)

日本で最初にベンガラが作られた工場。1909年ころの赤レンガ造りの建物の中には当時の製造機械も残っています。見学者も受け付けています。

江戸の駿馬跡・大駿の墓・駿馬 (C-10)

江戸時代の大駿・奥平家の菩提寺。時代によると、江戸の駿馬が、馬の足を伸ばすために走った跡地。

翡翠原石館 (A-9)

翡翠の世界的なコレクターが自らの所蔵品を展示。翡翠が含まれる大きな岩石から小さな勾玉まで、翡翠のすべてを見て、知ることができます。

高村智恵子の「レモンの庭」 (B-7)

美術家・高村智恵子 (1886-1938) が最後の日々を送ったセムズ坂病院があった場所。夫で彫刻家・詩人の高村太郎 (1883-1956) が智恵子を詠った詩集「智恵子抄」は多くの日本人に愛されています。

日本ペイント明治記念館 (B-8)

日本で最初にベンガラが作られた工場。1909年ころの赤レンガ造りの建物の中には当時の製造機械も残っています。見学者も受け付けています。

江戸の駿馬跡・大駿の墓・駿馬 (C-10)

江戸時代の大駿・奥平家の菩提寺。時代によると、江戸の駿馬が、馬の足を伸ばすために走った跡地。

翡翠原石館 (A-9)

翡翠の世界的なコレクターが自らの所蔵品を展示。翡翠が含まれる大きな岩石から小さな勾玉まで、翡翠のすべてを見て、知ることができます。

<h3